

## 令和8年度第1回一関市学校給食センター運営委員会 会議録

- 1 会 議 名 令和8年度第1回一関市学校給食センター運営委員会
- 2 開催日時 令和8年7月30日（木）午後3時から午後4時30分まで
- 3 開催場所 一関市役所花泉支所 4階東大会議室
- 4 出席者
  - (1) 委 員 小松由香里委員（委員長）、佐藤律子委員（副委員長）、須藤淳委員、古川泰也委員、菊池知之委員、鈴木有希委員、大川憲一委員、小岩治彦委員、加賀直樹委員、東海林明弘委員、庄子武宏委員、日下徹委員、小野寺秀宣委員、小野寺嘉奈委員、  
※欠席者 千葉大委員、三浦正弘委員
  - (2) 事務局 時枝直樹教育長、千葉せつ子教育次長、千葉圭子教育総務課長、和賀真樹副参事兼学校教育課長、中村由美子西部学校給食センター所長、黒川俊之西部第二学校給食センター所長、菅原春彦真滝学校給食センター所長、鈴木和広花泉学校給食センター所長、菅原正幸大東学校給食センター所長、橋本雅郎千厩学校給食センター所長、山田綾学校教育課長補佐兼保健係長、木村幸子学校教育課長補佐兼栄養主任主査、佐藤千夏学校教育課主事
- 5 議 題
  - (1) 一関市学校給食センターの運営について
  - (2) 食育の状況について
  - (3) 学校給食費の納付方法及び納付期限等について
  - (4) 学校給食費の収納状況及び収納対策について
  - (5) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 時枝直樹教育長挨拶

皆さんこんにちは。はじめに、7月28日に発生いたしました令和8年熊本地震でお亡くなりになられた方に、お悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

本日はお忙しい中、令和8年度第1回一関市学校給食センター運営委員会に出席いただき、誠にありがとうございます。先ほど委員の皆様にご挨拶をさせていただきました。この委員会は、学校給食の運営や食育の推進、給食費の収納対策など、各学校給

食センターに共通する課題について審議いただいて、学校給食センターを適正かつ円滑に運営するために設置しております。委員の皆様には、それぞれの立場から御意見を賜りますようお願い申し上げます。

さて、小学校・中学校では、先週から今週の初めにかけて、1学期の終業式を終え、子どもたちは夏休みに入っているところであります。1学期も子どもたちに大きな事故などなく、教育活動を進めることができたことは、保護者の皆様、そして各学校の教職員の皆様の御指導のおかげだと思っております。心から感謝申し上げます。

子どもたちにとって、将来にわたり、健やかな体を維持していく、増進していくことが求められておりますが、一関市教育委員会では、岩手県の教育委員会が推進している60+（ロクマルプラス）プロジェクトを進めることを考えております。これは「よりよい運動習慣」ということで、徒歩通学の時間も含めて、1日60分の運動を確保しましょう。そして、「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」この3つを進めていくことで、健やかな体が維持できるようにと考えているものであります。各学校では、御家庭や地域と連携しながら、子どもたちの成長を支える取組を進めていただいております。その中で学校給食は、児童生徒の健康保持増進だけでなく、食に関する正しい知識や、望ましい食習慣を身につけるための生きた教材として、大変重要な役割を担っていると思っております。また、コロナ禍では黙食でありましたが、現在は通常に戻り、仲間と一緒に食事することを通して、感謝の心や協調性を育む機会にもなっているところであります。

一方で、物価高騰が依然として続いており、学校給食を取り巻く環境は厳しい状況にあります。そのような中であっても、給食センターでは栄養バランスの確保や食育の充実を図りながら、非常に苦心しながら献立の工夫を重ね、安全・安心でおいしい給食の提供に努めております。この物価高の影響で、ここ2年間、給食費の改定を行っております。教職員の皆様には、この改定した額のとおり、払っていただいておりますが、保護者の皆様には、子育て支援の観点から負担軽減を図るため、増額分は交付金を活用し、過年度より額を据え置いて対応しております。また、小学校においては、国の新制度である「学校給食費の抜本的な負担軽減」に基づき、交付金を活用し保護者からは徴収せずに対応しております。このことは、その都度各学校を通して保護者の皆様に通知しておりますが、本日はそのことにも触れさせていただいて、正しく御理解をいただきたいと思っております。

本日は、学校給食センターの運営状況や食育の取組、給食費の収納状況などについての説明を申し上げます。限られた時間ではありますが、委員の皆様から忌憚のない御意見をいただき、望ましい給食センターの運営と、子どもたちへの給食提供に努めてまいり

たいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 9 委員長及び副委員長の選任

委員から事務局に一任するとの発言があり、事務局から委員長に小松由香里委員、副委員長に佐藤律子委員を提案し、委員から承認された。

## 10 協議内容

### (1) 一関市学校給食センターの運営について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

### (2) 食育の状況について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

### (3) 学校給食費の納付方法及び納付期限等について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

### (4) 学校給食費の収納状況及び収納対策について

資料に基づき事務局から説明を行った。質疑応答等なし。

### (5) その他

議長が各委員に対し意見及び感想を求めた。以下、意見感想等。

委 員 日頃から安全で安心な給食を提供いただいていることに本当に感謝している。

残食が多いということについて、学校に来ることができない生徒の分が残食に繋がっている面がある。おかわりのためにじゃんけんをしながら、沢山食べている子どもたちもいるので、そのような状況があるのだと思っていただければありがたい。

委 員 子どもたちの体調を考えながら、食に対して、細やかな配慮をしていただいている。栄養教諭にも食育でお世話になっている。今後も食を通して子どもたちの成長を見守っていきたい。

委 員 学校給食は子どもたちの成長にとってとても大切であり、楽しみであると思う。教職員にとっても同様である。学校給食センターからいろいろな給食を提供していただき、具沢山で栄養バランスが良いと思っていた。

委 員 アレルギーへの対応や食育の部分で、学校給食センターの先生方に来ていただいて、指導いただくなど助かっている。子どもたちも給食を楽しみにしていて、給食が1つの励みになっている子どももいる。

委 員 一関の学校給食は、色鮮やかであるように感じる。学校給食センターの集約の話題もあるようだが、学校からできるだけ近い学校給食センターで、温かいものが温かいうちに届くように工夫し配慮いただいているからこそ、見た目も美味しい給食が届いている。栄養面を考えてくださっている方々が、非常に細

かく配慮してくださっていると感じている。

委員 検食後に栄養教諭とやり取りをするが、献立表には表れない苦勞が目に見える時がある。食材費が高騰している中で、苦勞や工夫をされて献立を作っていることが伝わってくる。

委員 小学生の息子が2人いる。毎日じゃんけんをして余っている給食を食べているようである。残食の減少に貢献していると思う。

委員 娘は給食の献立表が出ると食い入るように見ている。料理名だけでは内容が分からない、わくわくする給食を作っている。給食で美味しいと感じたメニューが、家庭の献立に加わることもある。

委員 子どもになぜ食べきれないかと聞いたところ、給食の準備に時間がかかると話していた。準備はみんなで一緒にやるのが大切だと思うが、食べる時間をしっかりと確保してほしい。

委員 子どもが学校から帰ってくると、給食が美味しかったと毎日話をしている。各学校や学校給食センターからヒヤリ・ハットの報告があったということだが、今後も事故が起きないように十分に注意していただきたいと思う。

委員 妻が忙しいため、私が夕飯の準備をすることがあるが、栄養バランスを考えるのは難しいと思う。栄養のバランスが取れた給食をお昼に食べてきてくれるのはありがたい。

委員 今年度の巡回点検で指摘した内容があったが、順次改善に取り組んでいるということで引き続きお願いしたい。

委員 地域の方と子どもたちが関わることを、給食というキーワードを通じて取り組んでいращやと思う。引き続きお手伝いできることがあればと思っている。

## 11 その他

事務局から学校給食調理業務委託と学校給食食材の無償提供について説明した。

令和9年度からの調理業務委託業者の選定について、これまで5年間の委託契約期間としてきたが、物価高騰と人件費高騰が見通せない状況であることから、令和9年度からの契約は3年間とする。

また、現在は同一学区の小学校・中学校で異なる学校給食センターから供給をしているところが一部あるが、令和9年度以降、可能な限り、同一学区の小学校・中学校については、同一の学校給食センターから供給とする方針で、検討し進めている段階である。児童生徒の食物アレルギー対応において、中学校への進学時に学校給食センターが変わることによる保護者の不安の軽減などを図ることを目的としている。

続いて、A r k 館ヶ森様からの「館ヶ森高原豚」の無償提供の申出についてである。

学校給食の食材の無償提供について、最近では、令和7年2月に株式会社オヤマ様から唐揚げを、市内6学校給食センターの全配給校に無償提供いただいている。

A r k 館ヶ森様からの「館ヶ森高原豚」の無償提供について、A r k 館ヶ森様と打合せを行い、月1回程度提供いただけるとのことであった。今後、A r k 館ヶ森様と各学校給食センターの栄養教諭と打合せを予定しており、具体的な提供開始時期について調整していく。無償提供に合わせて、各学校での生産者との交流の実施なども検討していきたいと考えている。

12 担当課 教育委員会事務局学校教育課